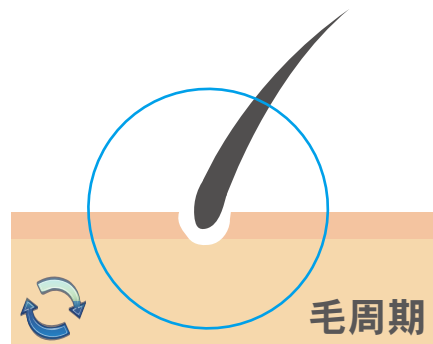


まつげのメカニズムを知ることで、来店されるお客様の不安を取り除き、まつげエクステの魅力を更に効果的にお伝えすることができます。今回のテーマは、まつげエクステの持続期間に大きく影響するまつげの「毛周期」についてです。

毛周期とは、体毛が生え変わるサイクルのことで、まつげにも備わっているメカニズムです。人によりまつげの本数や毛質が様々なと同様に、毛周期も人によって異なります。

まつげは成長と休止の時間軸の中で、生えたり抜けたりといったサイクルを繰り返しています。例えば、今日抜けたまつげの毛孔から明日また生えてくるのではなく、少し休憩して、栄養を蓄えてから新たなまつげとして再度成長していきます。今日抜けたまつげが休憩している間は、今まで休憩していたまつげが生え始め、見た目では常に同じくらいの本数を全体的に保っているのです。このまつげの毛周期を正しく理解して、事前のカウンセリングでお客様にもご理解頂くことで、まつげエクステの持続期間等に関するトラブルを未然に回避することができます。



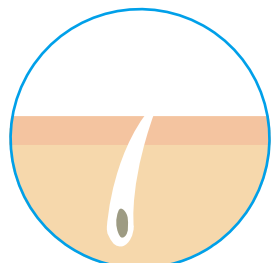
■まつげについて

まつげは目を外敵から保護するためにあり、ほこりなどが角膜や結膜へ侵入するのを防ぎます。日本人の場合まつげの長さは、約5～10mm前後で、本数については個人差がありますが、およそ上まつげ約100～150本、下まつげがその半分程度です。一般的に1日に5本前後自然に抜け落ち、約0.1～0.18mm成長します。

まつげの成長が最も活発になるのは、PM10:00～AM2:00の間で、成長ホルモンの分泌が盛んな時間帯と合致します。この時間に栄養を与え、十分に睡眠を取ると、まつげの再生・成長を促進することができます。

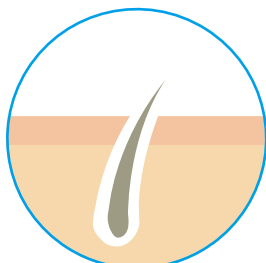
■まつげの毛周期サイクルについて

まつげは、生えはじめ（成長初期）・伸びる時期（成長期）・成長が止まる時期（退行期）、抜け落ちてから発毛までの準備段階に入る時期（休止期）を1サイクルとする毛周期を繰り返しています。

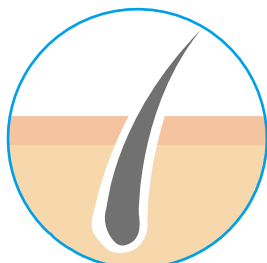


成長初期

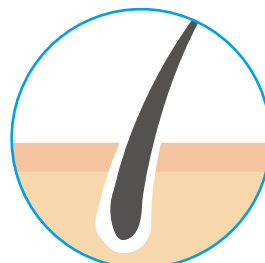
まぶたの中でまつげの成長が始まり、まぶたの外に出て伸びていきます。



成長期

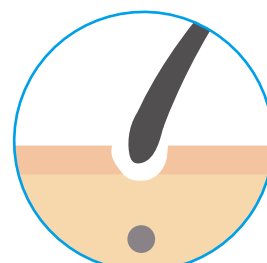


成長期



退行期

まつげの成長は止まり、やがて抜け落ちます。



休止期

成長初期

皮膚の中で成長が始まる時期。毛が細くて弱くコシもない状態です。これからどんどん太く長くなっていきます。成長を妨げてしまうため、まつげエクステの装着は避けるべき時期です。

成長期

成長初期から皮膚表面へ出たあと、更に太く伸びて行く時期。コシも出てきます。まだまつげが短いこの時期にエクステを装着すると2～3週間でまつげエクステのデザインが変わってしまう可能性があるため、まつげエクステの装着は慎重に選択すべき時期です。

退行期

まつげの成長が止まる時期。成長期の終わりから退行期が始まる時期が、エクステを装着するには最適であると考えられます。

休止期

毛が抜け落ち、次の毛が生えるまでの準備段階の時期。この時期の毛にエクステを装着してしまうと持続期間を保つことができず、早期に取れてしまうため避けるべき時期です。

※頭髪の場合、毛周期は3～6年のサイクルですが、まつげの毛周期は3週間～4か月のサイクルと非常に短いことから、まつげは頭髪のように伸び続けずに、一定の長さが保たれています。

■まつげの毛周期とまつげエクステの関係

まつげエクステを装着する時には、毛周期に注意しなければなりません。

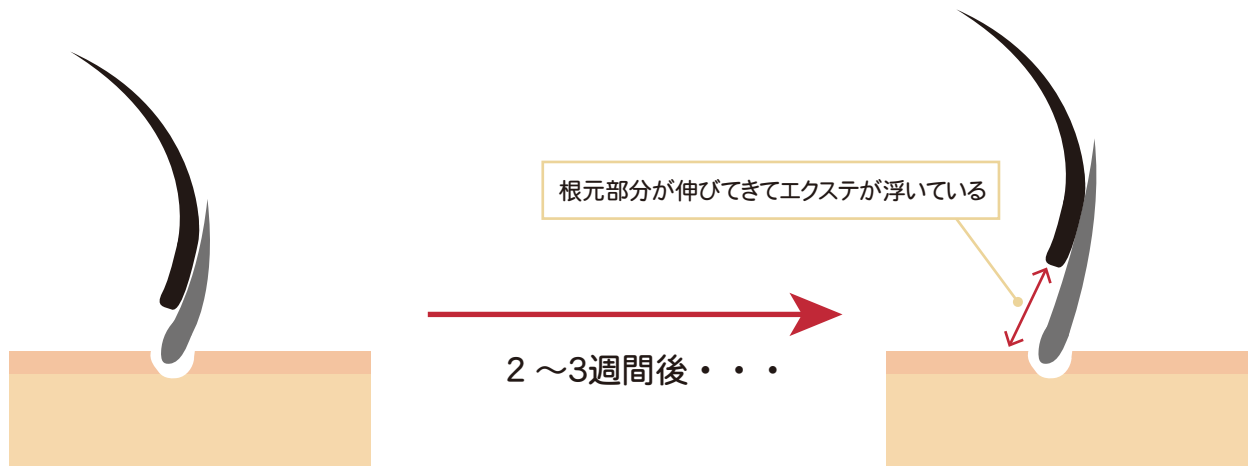
休止期に入ると、髪の毛と同様にまつげはある日、自然に抜けます（自然脱毛という）。抜ける時期が近づいている毛にエクステ（人工毛）を装着すると、まつげエクステの知識があまりないお客様にとっては「まつげエクステをしたからまつげが抜けた・・・?」「昨日つけたばかりなのにもう取れてしまった・・・?」とサロン様に対するマイナスイメージを与えかねません。人間の体のごく自然なサイクルであるのにもかかわらず、お客様をその様なお気持ちにしまうのはサロンとしては避けたい所です。

また、まれにまつげエクステをオフにした際、「全体的にまつげが短くなった、もしくは少なくなった」と感じる場合があります。

それはちょうど、まつげが休止期や成長初期に入り、生え変わりの時期であることが原因かもしれません。また、ホルモンバランスの乱れや、ストレスなどで、毛周期は長くなったり短くなったりします。毛が抜けている箇所が多い場合はストレスなどの体調不良が原因の可能性がありえます。

■成長期のまつげには

前章でもご説明したように、成長期のまつげにエクステを装着すると、2～3週間後のリペアの時に根元部分が数ミリ伸びているのがわかります。しっかり成長しているのだとわかる反面、エクステが垂れ下がったり、装着時のデザインが乱れていたり、あまり良い状態とはいえません。出来る限り、成長過程の短い毛には装着せずに、長く伸びている、まつげを見つけるのもポイントです。



■休止期のまつげには

休止期のまつげが、いつ抜けるかはお客様ご本人にもわかりません。髪の毛も自然に抜けるように、休止期のまつげは触るだけで抜けることもあります。まつげエクステ施術前にまつげに優しく力を加えることでもうすぐ抜ける予定のまつげが負担なく取り除くことができ、「エクステンションが早々に外れた!」という事態を減らすことができます。



コームでとかし刺激を与える



綿棒で挟み優しく引っ張る



■最後に

毛周期について理解していれば、装着した地まつげの状態がまつげエクステの持続性に影響を与えることについて顧客への事前説明が可能であり、万一、次の日に自然脱毛でエクステ（人工毛）と一緒に地まつげが抜け落ちたとしても、ご納得いただける状況を築ことができます。さらには、ひと手間をかけることで、数日後に抜けるまつげへのエクステ（人工毛）装着を避けることも可能になります。